

デジタル版 すいせん図書 第214回 平成24年2月

この図書は全国学校図書館協議会の速報版等を参考にして選定したものです。
このすいせん図書は長野県優良図書研究所であっせんしますので、ご利用ください。

★ すいせん図書 その1 ★

小学校低学年(1・2年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
ばいきんあたらー (PHPとっておきのどうわ)	村上しいこ(作) 大島妙子(絵) PHP研究所 2011年5月 1,155円	歯みがきしない子の口にしのびこみ、チクチクすることが仕事のばいきん家族。初仕事に向かったあたらーですが、上手に口の中に入れず、女の子に見つかってしまいます。話をするうちに、人間と友だちになりたくなったあたらー。どうなるでしょう。 78p・22cm・913
おとまり、おことわり?	ボニーベッカー(作) ケイディマクドナルドデントン(絵) 横山和江(翻訳) 岩崎書店 2011年8月 1,365円	お客さんを泊めたことのないクマの所に、ネズミが泊まりにきました。静かでないと眠れないクマですが、静かな中で聞こえてくる音に、ちょっとビクビク。そんなクマを知って、あたたかく見守るネズミ。二人の仲良し度がますますアップのお話です。 48p・25×28cm・933
ケンタのとりのす だいさくせん	山下美樹(作) 市居みか(絵) 文溪堂 2011年3月 1,260円	おふろ、特に頭を洗うのが大嫌いなケンタは、小鳥の巣になってしまえばおふろに入らなくてもよいのではと考えました。横になることも、頭をゆらすこともできず、首の後ろもガチガチにかたまってしまったケンタ。さあ、どうなるのでしょうか。 44p・22cm・913
じっちよりんのあるくみち	かとうあじゆ(作) 文溪堂 2011年5月 1,365円	とても小さいじっちよりんは花や葉は食べますが種はとっておきます。その理由は、種をうえるため。じっちよりんの歩いた道には素敵なおこります。この絵本を読むと、いつもの道もじっちよりんのことを考えながらゆっくり歩きたくなるかも。 32p・24cm・913
へんたこさん せんちょうになる (へんたこせんちょう うみをいく)	いとうひろし(著イラスト) 偕成社 2011年5月 1,260円	へんたこさんには夢があります。それは船長さんになること。試験に合格するため、つりぶね船長のもとで勉強します。試験の日、へんたこさんが本当に船を操縦できるのか試されることになりました。さて、その結果は…。 35p・27cm・726

小学校中学年(3・4年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
レンタルロボット (ジュニア文学館)	滝井幸代(作) 学習研究社 2011年9月 1,260円	健太はひとりっ子。どうしてもほしかった弟ロボットを手に入れ、ツトムと名づけた。最初は楽しい日々が続いたが、兄として我慢しなければならないことも出てきて、ツトムを返してしまう。残されたツトムからの手紙に涙を流す健太だった。 118p・22cm・913
とくべつなお気に入り	エミリーロッダ(作) 下平けいすけ(絵) 神戸万知(翻訳) 岩崎書店 2011年4月 1,365円	バザーに出すために集められた古い洋服たち。その持ち主達が現われ、ケイトに思い出を語り始めます。そう、それはかつて誰かの特別なお気に入りだったのです。そしてケイトは、バザーの当日、もう一つ不思議な体験をします。さてそれは？ 104p・22cm・933
とどけ！夢へのストライク (おはなしガーデン29)	桜井まどか(作) こぐれけんじろう(絵) 岩崎書店 2011年9月 1,260円	洋一は一年生の時に海でおぼれて以来、いつも弱気な男の子。しかし最近よく見るこわい夢の中で知り合ったチビすけと、悪戦苦闘しながらもひたすら共に前へ進んでいく洋一。少しずつ成長していく主人公の姿に胸が熱くなるファンタジー。 87p・22cm・913
ありがとう、諏訪子さん —日本でいちばん長生き したインドゾウの話 (感動ノンフィクション シリーズ)	深山さくら(作) 末崎茂樹(絵) 佼成出版社 2011年6月 1,575円	2008年4月10日。神戸市の動物園でインドゾウの諏訪子さんが亡くなりました。国内最高齢のゾウだった諏訪子さん。タイから日本へやってきて、たくさんの出会いや体験をしてきた諏訪子さん。どのような一生を過ごしたのでしょうか。 128p・22cm・489
ココロ屋 (文研ブックランド)	梨屋アリエ(作) 菅野由貴子(絵) 文研出版 2011年9月 1,260円	心を好きなのに取り替えてくれるココロ屋。ひろきは、自分のココロを「やさしいココロ」や「すなおなココロ」に取り替え優しい人と評判になるが、どうも落ち着かない。やっぱり「自分のココロ」を育てていこうと決心するひろきの心の成長物語。 118p・22cm・913

小学校高学年(5・6年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
ぼくたちのサマー	本田有明(作) PHP研究所 2011年6月 1,260円	親友の勇太がいじめられるきっかけをつくってしまったぼく。謝る勇気の出ないぼくが、老人施設「ひまわり園」の人々や以前ぼくが捨てた犬にそっくりの「サマー」との関わりを通して、命や友情について考え、変わっていくストーリー。 165p・20cm・913
走れ！マスワラ	グザヴィエ＝ローラン・プティ(作) 浜辺貴絵(絵) PHP研究所 2011年9月 1,470円	心臓に障害があり、走ることも友だちと遊ぶこともできない少女シサンダ。心臓がいつ止まってもおかしくない娘の手術費用を手に入れるため、母のスマラはマラソン大会への出場を決意する。親子の、家族の固い絆に感動し、村人と一緒に応援したくなることでしょう。 242p・22cm・953
マルガレーテ・シュタイフ 物語 (ポプラ社ノンフィクション)	磯みゆき(作) ポプラ社 2011年6月 1,260円	テディベアを生み出したマルガレーテ・シュタイフ。彼女は一歳半で小児まひを患い、車いすで一生涯を過ごす。地道な努力とチャンスをつかむことのない勇気と決断力、あるがままを受け入れ、決してくじけずほこりをもってせいいっぱい生きた彼女の人生。 143p・20cm・289
緑のトンネルをぬけて (おはなしガーデン30)	岸史子(作) 上垣歩子(絵) 岩崎書店 2011年10月 1,260円	小学5年生で引っ込み思案の主人公まゆ。ある日、弟を追いかけて緑のトンネルを抜けると、新しい出会いがあった。近所のおばあちゃんや不登校の同級生との関わりから、少しでも勇気を出して踏み出すことの大切さに気づき、変わっていく。 125p・22cm・913
お父さんのバイオリン	ほしおさなえ(作) 高橋和枝(絵) 徳間書店 2011年11月 1,575円	ある事故がきっかけで、バイオリンが弾けなくなってしまった6年生の梢。仕事をなくした失意の母とともに、夏休みに田舎の祖母の家で過ごすことになる。そこで、亡くなったバイオリン奏者だった父との絆に気づき、自分をとりもどしていく。 242p・19cm・913

中学生向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
なぞの目撃者 (少年弁護士セオの事件簿)	ジョン・グリシャム(作) 浅野隆広(絵) 石崎洋司(翻訳) 岩崎書店 2011年9月 1,470円	弁護士を両親に持ち、自分も弁護士をめざすセオは、友達の色々な相談にのっている。町でおこった殺人事件について、重要な情報を得たセオは……。楽しみながら読むうちに、アメリカの社会や裁判制度についても知ることができる。 383p・20cm・933
ハティのはてしない空 この地球を生きる子どもたち	カービーラーソン(作) KirbyLarson(原著) 杉田七重(翻訳) 鈴木出版 2011年7月 1,680円	20世紀初頭、アメリカ北西部のモンタナで、両親のいない16才の少女がおじの遺言をうけ、たった一人で土地の開拓に挑む。厳しい生活の中で人に支えられながら、「最大の自由は許しのなかにこそみつかると」という心境に至る、心洗われる物語。 397p・20cm・933
クラーケンの島	エヴァ・イボットソン(作) 三辺律子(翻訳) 偕成社 2011年10月 1,575円	海に住む伝説の「クラーケン」を中心に、さまざまな生き物を守ろうとする三人のおばさんたちと二人の少年少女の冒険物語。ひとアザラシや人魚、翼のない竜などの登場人物が、空想力、想像力をかき立て、地球の自然の大切さを考えさせてくれます。 317p・20cm・933

★学習図書★

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC・教科
はたらく動物大研究	武内ゆかり森裕司(監修) PHP研究所 2011年8月 2,940円	人よりすごい能力で、私たちを助けてくれる動物たち。すぐ思いうかぶのは、警察犬や盲導犬ですが……。馬、牛からサル・タカ・イルカまで、実にたくさんの動物が、特別な力で人の暮らしを助け、活躍しています。いったいどんな働きかみてみましょう。 63p・29cm・480・総合
ナショナルジオグラフィック 動物大せっきん ライオン (ナショナルジオグラフィック 動物大せっきん)	デレックジュベール(作) ビバリージュベール(作) 小宮輝之(監修) ほるぷ出版 2011年9月 2,310円	サバンナの王者ライオンの迫力ある写真と共に、観察の様子、ライオンの生活や生きる厳しさなどありのままの姿を伝える一冊。ライオンに食べられないためのアドバイス、探すときのアドバイスもあり、もしもサバンナに行ったら……とわくわくする。 31p・27cm・489・理科・総合
ちいさな鳥の地球たび (えほんのぼうけん30)	藤原幸一(著写真) 岩崎書店 2011年8月 1,470円	小さな白い渡り鳥キョクアジサシのキーアの北極から南極までの地球旅のお話。美しい自然やかわいい動物写真、反対にゴミの山や壊れていく自然写真がキーアの旅の話と共に紹介される。動物の視点から環境問題が投げかけられ、考えさせられる一冊。 1冊(ページ付なし)・29cm・913・理科・総合
あさがお	荒井真紀(著イラスト) 高橋秀男(監修) 金の星社 2011年6月 1,260円	夏、アサガオの花が開くのは、日の長さが短くなるのを感じてつぼみがふくらんでくるからです。美しいイラストで描かれたこの本を読むと、自然のふしぎにみちた植物「アサガオ」をきつと育てたくなることでしょう。 1冊(ページ付なし)・25cm・479・理科・生活
わたし、くわがた (かがくのとも絵本)	得田之久(作) たかはしきよし(絵) 福音館書店 2011年6月 945円	つのがないのくわがたにはみえないけれど、わたしはノコギリクワガタのメス。実はつのではなく、あれはあご。メスにも小さなあごがあるのです。くわがたの生態に触れながら、メスの特徴について書かれています。 27p・26cm・486・理科・生活